



学校だより

あられるいすみ

令和2年5月11日
練馬区立大泉西中学校
令和2年度5月号

自学自習のきっかけ

校長 鈴木裕行

学校の臨時休業が5月31日（日）まで延長になりました。3月から始まった臨時休業が3か月になります。日本全体や東京都を考えると、まだ油断できない状況です。生徒の皆さんに求めることは、不要不急の外出や、三つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）が重なる状況を避けて、手洗いと咳エチケットを基本にした生活を辛抱強く続けながら、自学自習に努めることです。学校の学習課題だけでなく自分が抱いた疑問や気付きを追究すると、自学自習の幅が広がります。

3月からの臨時休業を振り返ると、平成23（2011）年3月11日に発生した東日本大震災のことに思いがいたりしました。宮城県石巻市立石巻中学校がまとめた「東日本大震災時の対応と授業再開までの道のり」という記録を読みました。東日本大震災から授業を再開するまでの取組がまとめられています。突如として学校が臨時休業になり、通常どおりではない卒業式や修了式を行った点が似ていると感じたからです。

石巻中学校が授業の一部を再開したのは、震災が起きた年の5月9日でした。それでも体育館は避難所になっていました。避難者が最後に去ったのは10月5日でした。記録報告なので淡々とした記述ですが、生徒や保護者、地域や学校の関係者が授業再開に向けて、どれだけ思いと努力をしたのかが伝わります。震災と新型コロナウイルス感染症を同じにしてはいけませんが、命にかかわる点では同じです。新型コロナウイルス感染症をきっかけに東日本大震災のことを調べてみると、新たな学びが生まれます。

5月1日は本校の開校記念日でした。ここからも学びが生まれます。調べてみれば、大泉西中学校の学区域は、昭和22（1947）年に設置された大泉第一中学校から始まる大泉中学校の学区域の中にありました。昭和37（1962）年に大泉学園中学校が分離独立した後、昭和48（1973）年に大泉学園中学校の学区域を分けて本校が誕生しました。地域の人口増加から新たな学校が必要になりました。当時の生徒は、大泉学園中学校から転入した2年生と新たに入学した1年生だったので、卒業生は61歳より年下の年代ということになります。開校した昭和48（1973）年を調べれば、ベトナム戦争が終結し、光が丘の前身であったグラントハイツ（アメリカ空軍の家族宿舎）が日本に返還されています。その前年の昭和47（1972）年には、沖縄がアメリカから日本に返還されています。

来年度から新しい学習指導要領が全面実施になります。自分の抱いた疑問や課題に目を向けて、自分で調べたり考えたりすることを通じてよりよく問題を解決する力を伸ばす、そうした学習をこれまで以上に重視していきます。



第1回入学式（昭和48年）
本校ホームページより

学びを進める参考として

臨時休業が続く中でも、意欲をもって学びが続けられるように、様々な公的機関が学習支援サイトを立ち上げています。前の学年の復習や自分の学びを進める際の参考にしたり、より理解を深めるために活用したりと利用の仕方は自分で選ぶことができます。参考としていくつかのサイトとURL（インターネット上のホームページの場所を示すもの）を紹介します。

○「学びの支援サイト」東京都教育委員会

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/learning_support.html

- 学びの支援サイトを活用した家庭学習の進め方
- 東京ベーシック・ドリル
- 学習支援コンテンツの情報サイト
- 児童・生徒の学力向上を図るための調査
- 理数教育
- 都立高等学校入学者選抜 学力検査問題及び正答表等
- 東京都オリンピック・パラリンピック教育
- 都立学校魅力 PR 動画
- 参考となる外部のリンク集

など

○「今こそできる！こんなこと 一都立図書館 学習・読書応援ポータル」東京都立図書館

https://www.library.metro.tokyo.jp/learning_support/index.html

○「子供の学び応援サイト（臨時休業期間における学習支援コンテンツポータルサイト）」文部科学省

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm

○「学びを止めない未来の教室（新型コロナウイルス感染症による学校休業対策）」経済産業省

https://www.learning-innovation.go.jp/covid_19/page/5/

○「全国学力・学習状況調査」（国立教育政策研究所）

<https://www.nier.go.jp/19chousa/19chousa.htm>

○「NHK for School（エヌエイチケイ フォー スクール）」日本放送協会

<https://www.nhk.or.jp/school/>

- NHK が制作する学校教育向けのテレビ番組の配信

安心・安全を高めるための相談先

○「練馬区教育相談室」練馬区学校教育支援センター

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/gakko/kyoikucenter/soudan/kyoikusodanshitsu.html>

- 学校でも、スクールカウンセラーや養護教諭、教育相談担当教員が相談を受けています。事前に電話（学校代表 03-3921-7101）で予約をしてください。

事情により、家庭でパソコン等を使用してホームページの閲覧ができない生徒は、事前の予約で学校のパソコン室を使うことができます。。

社会全体でこの状況を乗り越えて、一日でも早く学校の教育活動が再開できることを願っています。皆さんの賢明な努力に応えるためにも、授業の再開に向けて、辛抱強く、みんなで一緒に努力しましょう。